



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.1.2

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.1.2』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.1.2 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- メンテナンスリリース 9.1.2 で修正された問題
- メンテナンスリリース 9.1.2 で新規に発生する問題
- Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について
(WFTEST-5728)

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.1.2』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.1.2 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.1.2 では、以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容
WFTEST-5680	Designer	Designer で「出力形式」を「実行時に選択」にすると PDF、XLSX 形式の出力ができない
WFTEST-5616	その他	ディファードチケットクリーンアップユーティリティ(mrdtcleanup.bat)を実行すると Java のエラーとなり、正常に処理を実行することができません。
WFTEST-5516	App Studio	デフォルトオートプロンプトテンプレートが「デザイナー」の場合、App Studio からパラメータ付きのプロシジャを実行できません。
WFTEST-5511	Designer	パラメータのプロンプトの設定で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが[デザイナー]で、且つセルフサービスが[デフォルト値で実行]の場合、Designer でオートドリルダウンレポートプレビュー実行時に「WFDescribe 処理でエラーが発生しました」エラーが発生します。
WFTEST-5500	Designer	パラメータのプロンプトの設定で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが[デザイナー]の場合、Designer でオートドリルダウンレポートプレビュー実行時にオートプロンプトで 2 回目以降の実行を行う際に「項目が存在しません」エラーが発生します。
WFTEST-5455	InfoAssist	セグメントの制限が 8 バイトの時に作成され、セグメント名が同一の複数の HOLD ファイルを含む InfoAssist (レイアウト) のレポートを V9.0.4 にインポートして開くと FOC236 エラーとなり編集する

		ことができません
WFTEST-5432	Resource Analyzer	Resource Analyzer でログが取得できないリポジトリのテーブル (SMRELATIONS) があります。
WFTEST-5430	App Studio	デフォルトオートプロンプトテンプレート「デザイナー」の設定で、レポートキャンバス WHERE 条件作成時、[変数エディタ] - [静的リスト]に表示値：選択なしが設定できません
WFTEST-5427	Designer	ビジュアライゼーションのデータタブにて、フィルタの比較子として「NE」を指定した場合、正しい実行結果が得られません。
WFTEST-5409	その他	mrtdcleanup 実行時に「command not found」エラーが発生します
WFTEST-5407	その他	物理フォルダの資産を ibi_apps/approot でアクセスした後に再度ブラウザを開くと ibi_apps エイリアスが無効のエラーが発生します。
WFTEST-5396	Designer	Designer でページにドリルダウンする際に、日本語のパラメータ値が渡せません。
WFTEST-5386	Designer	Designer で HOLD ファイル内の項目を動的フィルタに設定すると、フィルタのデータの参照先が一次フォルダ[Preview)になってしまい、再ログイン等でプレビューのデータが削除された状態で実行するとフィルタのデータが表示されません。
WFTEST-5382	InfoAssist	InfoAssist で、ダブルバイト文字の DEFINE 項目名 ("あいう (か) ") を含む HOLD ファイルを作成し、その HOLD ファイルからレポート作成時に、HOLD ファイルに含まれる DEFINE 項目名と前方部分一致するダブルバイト文字で DEFINE 項目名 ("あいう") を追加しようとする、アプリケーションサーバ (Tomcat) がハングアップします。
WFTEST-5377	App Studio	HTML キャンバスで、ページ検索コントロールの検索を使用する際、値表示値に数値が含まれている場合は正しく検索することが出来ません。
WFTEST-5371	Designer	Analytic Document で日付型フィールドにフィルタ条件がかかりません
WFTEST-5352	Designer	デザイナーの「データ」タブ-「カラムの選択」画面で一時項目をフィルタに設定、保存し、再度フィルタを表示した場合、フィルタ内の該当の一時項目が違う名前 (SQLDEFnn) に自動的に置き換わること

		があります。
WFTEST-5227	Reporting Server	マルチドリルダウン時に受け渡すパラメータに、 "%"が含まれている場合エンコードされません。
WFTEST-5225	Designer	ブラウザに Firefox を使用している場合、 DESIGNER で見出しに改行をいれると実行時に改行 が有効になりません。
WFTEST-5223	Reporting Server	8.2.06 環境で作成し、9.0.3 環境にインポートした ポータルが実行できません。
WFTEST-5219	Reporting Server	マルチドリルダウンで"#", "+"がエンコードされま せん。
WFTEST-5218	Designer	V9.0.2 でレガシー機能を有効にするのチェックを外 すと、Designer (GUI) で作成したレポートが編集 できなくなります。(テキストエディタでの編集の みになります)
WFTEST-5211	Reporting Server	ActiveReport で ACROSS 展 開 時 に 「ACROSSCOLUMN=項目」で指定したスタイルの 設定が反映されません。
WFTEST-5210	BI Portal	コラボレーションポータル実行時、Client の言語設 定を中国語、韓国語に設定した場合、読み込み中の ままとってしまいます。
WFTEST-5194	InfoAssist	8206.28 へバージョンアップ後、特定のファイルに 対し以前のバージョンで作成済みのプロシジャを InfoAssist で再編集し、DEFINE を追加作成すると FOC258 エラーが発生します。
WFTEST-5154	Reporting Server	FPRINT 関数の指定で、除算計算を含むパラメータ を指定した場合、正しく計算できません。
WFTEST-5138	App Studio	App Studio のレポートキャンバスの [スタイルテン プレート] と [レガシースタイルテンプレート] が 表示されません。
WFTEST-5119	InfoAssist	マップグラフ (Leaflet) で追加した地域が反映され ません
WFTEST-5076	Reporting Server	8.2.01 の場合は日本語で 1067 以上、9.0.0 の場合は 2046 文字以上の文字数を見出しに設定し、Excel (XLSX) で出力するとクラッシュが発生します。
WFTEST-5059	InfoAssist	以前のバージョンで作成された HOLD ファイルのセ グメント名が 8 バイトで切り捨てられたプロシジャ を V9.0.0 の InfoAssist で開くと、「フィールドが 見つかりません」のエラーが発生します

WFTEST-5049	ホームページ	ホームページ (WebFOCUS HUB) で F5 キーを押すと、"Failed to process the request "のエラーが rs.log に出力されます。
WFTEST-5037	ReportCaster	SJIS 環境で ReportCaster のスケジュール禁止日のインポートを行うと文字化けします。
WFTEST-5019	App Studio	先頭行にブランクが挿入されているプロシジャに対し、インパクト分析を行った場合、正しい結果が表示されません。
WFTEST-5012	InfoAssist	日本語名のフィールドが変数に指定されているオートプロンプトで、「現在の値を保存」が正しく動作しません。
WFTEST-4938	App Studio	9.0.0 の App Studio のオンラインヘルプがデフォルトでは 8207 のコンテンツのままになっています。
WFTEST-4849	App Studio	シングルコーテーションが 2 つ入っている値が選択されている状態で[選択の保存]をした場合、正常に保存されず、未選択状態になります。
WFTEST-4602	In-Document Analytics	AHTML 出力 (ARVERSION=1) にて、行固定 (HFREEZE) を設定している状態で リストツールで列の並び替えをすると、ヘッダー (タイトル部分) のみ移動 され、データ部分が並び替えされません。
WFTEST-4599	In-Document Analytics	Analytic Document レポートで、条件付きスタイルとして ACROSS 項目に背景色を指定しても、レポートを出力時、背景色が設定されません。
WFTEST-4598	In-Document Analytics	AHTML 出力で ACROSS と NOPRINT を含む特定の条件において、レポートを出力すると意図した位置に背景色が設定されない場合があります。(NOPRINT が存在する分、ずれたような位置に色がつく。)
WFTEST-4311	管理コンソール	管理コンソールの外部セキュリティのグループプロバイダ優先ドロップダウンリストの選択値を PTH から変更後、再度確認すると PTH に戻ってしまいます。
WFTEST-3531	InfoAssist	OLAP レポートの OLAP コントロールパネルでディメンションの値一覧を表示することができません。(値一覧を取得して条件を設定することができません。)
WFTEST-1573	InfoAssist	InfoAssist+のフィルタの作成画面で、比較値に「パ

		ラメータ」を選ぶと演算子を「文字列を含む」や「マスク文字」に変更できません。
--	--	--

メンテナンスリリース 9.1.2 で新規に発生する問題

メンテナンスリリース 9.1.2 では、以下の問題が新規に発生することが報告されています。

キー	コンポーネント	要約
WFTEST-5729	その他	更新インストール後、保存しているレポートを実行すると、ブラウザのタブに古いファビコンが表示されてしまいます。
WFTEST-5728	インストール	Tomcat AJP コネクタを使用し、Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携して構成する場合、Catalina ログに Java エラー（ <code>java.lang. IllegalArgumentException</code> ）が発生します。
WFTEST-5726	ホームページ	出力タイプ「ユーザ選択」を選択した場合、またはパラメータ名、パラメータ値、検索項目に DBCS が含まれるパラメータ付きレポートを編集時に実行した時に「必須のパラメータがありません」エラーが表示される。
WFTEST-5708	ホームページ	お気に入り登録したレポートの名前がお気に入りフォルダー内で変わっています。
WFTEST-5578	Reporting Server	9.1.2 より EDASERVE 配下 EDAHOME にある特定のスタイルシート(jadeflt.sty など)を指定して実行するとエラーとなります。
WFTEST-5570	管理コンソール	管理コンソールから内部認証の設定で値を設定した後、ログインの最大試行回数以上にパスワードを間違えた際、例外処理のエラーが発生します。
WFTEST-5512	Designer	ビジュアライゼーションで、グラフ軸（X 軸、Y 軸）のタイトルより下のチェックボックスを連続でクリックした際、グラフの表示が変化します。
WFTEST-5473	Designer	Designer にてフィルタ設定時に半角ブランクを挿入すると[ブランク]と表示されず、空白で表示されます。
WFTEST-5464	Mobile	モバイルビューアからページを実行すると、エラーが出て実行できません。
WFTEST-5405	Mobile	モバイルビューア使用時、左側のメニューが透過で

		表示され、コンテンツ表示側のペインと重なって表示されてしまっています。
--	--	-------------------------------------

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

Tomcat AJP コネクタ使用時の追加設定について（WFTEST-5728）

WebFOCUS Version 9.1.2 をインストール時、アプリケーションサーバーとしてインストールモジュールにバンドルされた Tomcat（V9.0.75）を Web サーバー（IIS もしくは Apache HTTP サーバー）と連携（AJP コネクタ経由）して構成する場合、Catalina ログに Java エラー（java.lang. IllegalArgumentException）が発生します。

（WFTEST-5728）これは Tomcat V9.0.75 を含む特定のバージョンでのみ発生する問題であり、この問題に対応するためには、Tomcat を問題の発生しないバージョンに入れ替える必要があります。

以下は Windows 版、Linux 版のそれぞれの環境で WebFOCUS の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.75 を同 V9.0.70 に入れ替える手順です。WebFOCUS の構成内容に応じて、以下を参考に必要な対応を行ってください。

Windows 版対応方法

1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト（<https://tomcat.apache.org>）の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のインストールモジュール（apache-tomcat-9.0.70.exe）をあらかじめダウンロードします。
<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

2 WebFOCUS V9.1.2 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.1.2 を新規インストールします。

3 Tomcat V9.0.75 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.1.2 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.75 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.75 のサービス（Apache Tomcat 9.0.75 for WebFOCUS）を停止します。

3.2 [Tomcat 構成ユーティリティ]（Windows スタートメニューから[jibi]-[Tomcat]）を起動し、[Java]タブのすべての設定をテキストエディタなどにコピーし、保管します。 ※後続の手順で設定を変更しますので、必ずすべての内容を保管してください。

3.3 <drive>:\jibi\tomcat フォルダをコピーし、バックアップを取得します。

4 Tomcat V9.0.75 のアンインストール

Windows スタートメニューから[ibi]-[Tomcat]-[Tomcat のアンインストール]を実行し、Tomcat V9.0.75 をアンインストールします。

5 Tomcat V9.0.70 のインストール

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 インストールモジュール（apache-tomcat-9.0.70.exe）をインストールします。インストーラの指示により、以下を指定してください。

- Java Virtual Machine : <drive>:\ibi\WebFOCUS91\jdk
- Choose Install Location : <drive>:\ibi\tomcat

インストール完了後、Tomcat サービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を起動し、以下の URL にアクセスできれば、Tomcat V9.0.70 のインストールは完了です。

http://サーバ名:8080

6 Tomcat V9.0.70 インストール後の構成

6.1 Tomcat V9.0.70 のサービス（Apache Tomcat 9.0 Tomcat9）を停止します。

6.2 3.3 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.75 のバックアップフォルダ>\conf\Catalina\localhost

6.3 3.3 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のファイルをテキストエディタで開き、AJP Connection ポート（8009）の指定をコピーします。

<tomcat V9.0.75 のバックアップフォルダ>\conf\server.xml

6.4 AJP Connection ポート（8009）の指定を 6.3 でコピーした内容で置き換え、コメントアウト指定を削除し、有効化します。

<drive>:\ibi\tomcat\conf\server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

6.5 Windows スタートメニューから[Apache Tomcat 9.0 Tomcat9]-[Configure Tomcat]を実行し、以下の設定を行います。

- [Log On]タブで、[Local System account]を選択します。
- [Java]タブで、[Java Virtual Machine]、[Java Classpath]、[Java Options]、[Initial memory pool]、[Maximum memory pool]の設定をあらかじめ保管してある V9.0.75 と同じ値に設定します。

6.6 Tomcat サービス (Apache Tomcat 9.0 Tomcat9) を起動します。また、WebFOCUS Client リポジトリ DB と WebFOCUS Reporting Server のサービスを再起動します。

- 7 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。

Linux 版対応方法

- 1 Tomcat V9.0.70 モジュールのダウンロード

Apache Tomcat サイト (<https://tomcat.apache.org>) の以下のアーカイブサイトで Tomcat V9.0.70 のモジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) をあらかじめダウンロードします。

<https://archive.apache.org/dist/tomcat/tomcat-9/v9.0.70/bin/>

- 2 WebFOCUS V9.1.2 の新規インストール

インストールガイドまたはインストール手順書にしたがって、WebFOCUS V9.1.2 を新規インストールします。

- 3 Tomcat V9.0.75 のバックアップ

WebFOCUS Client V9.1.2 の新規インストールで自動構成される Tomcat V9.0.75 のバックアップを取得します。

3.1 Tomcat V9.0.75 のサーバープロセス (Application Server) を停止します。

3.2 <directory>/ibi/tomcat のバックアップを取得します

- 4 Tomcat V9.0.75 のアンインストール

<directory>/ibi/tomcat 配下のディレクトリ、ファイルを削除します。

- 5 Tomcat V9.0.70 の配置

先にダウンロードした Tomcat V9.0.70 モジュール (apache-tomcat-9.0.70.tar.gz) を <directory>/ibi/tomcat 配下に配置します。

- 6 3.2 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上にコピーします。

<tomcat V9.0.75 のバックアップディレクトリ>/conf/

- Catalina

- 7 3.2 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のファイルをテキストエディタで開き AJP Connection ポート (8009) の指定をコピーします。

<tomcat V9.0.73 のバックアップディレクトリ>/conf/server.xml

- 8 AJP Connection ポート (8009) の指定を 7 でコピーした内容で置き換え、コメントアウト指定を削除し、有効化します。

<directory>/ibi/tomcat/conf/server.xml をテキストエディタで編集します。

<Connector protocol="AJP/1.3" />の前後の <!-- と --> がコメントアウトの指定です。

指定例：

```
<Connector protocol="AJP/1.3"
    address="localhost"
    port="8009"
    redirectPort="8443"
    secretRequired="false"
    allowedRequestAttributesPattern=".*"
    maxPostSize="-1" />
```

- 9 3.2 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.75 のバックアップディレクトリ>/bin/

- shutdown.sh
- startup.sh
- catalina.sh

- 10 3.2 で取得した Tomcat V9.0.75 のバックアップから以下のフォルダ配下のファイルを Tomcat V9.0.70 の同じパス上に上書きコピーします。

<tomcat V9.0.75 のバックアップディレクトリ>/webapps/

- lbi_html

- 11 <directory>/lbi/tomcat/webapps フォルダ配下の以下フォルダを削除します。

- docs
- examples
- host-manager
- manager

- 12 Tomcat V9.0.70 のサーバープロセス（Application Server）を起動します。

- 13 WebFOCUS Hub にログインし、[管理コンソール]-[機能診断]-[WebFOCUS について] より、Application Server のバージョンが [Apache Tomcat/9.0.70]となっていることを確認します。

以上